

成績評価における客観的指標の算出方法

本学では、履修した授業科目の評価について、下記の基準で評価することを学則で定めています。さらに、成績評価厳格化のため、成績評価の客観的な指標として「GPA制度」を導入して、GPAの分布状況を学科ごとに把握、分析するとともに、成績不振者に対する学修指導にも活用しています。

単位修得の認定・学修の評価の基準

以下の基準で単位修得の認定、学修の評価を行います。（学則第38～40条参照）

評価 (Grade)	評価点 (GP)	評価基準	評点	判定	単位修得の認定
秀 (S)	4	到達目標を極めて優秀な成績で達成している。	100～90点	合格	認定
優 (A)	3	到達目標を優秀な成績で達成している。	89～80点		
良 (B)	2	到達目標を達成している。	79～70点		
可 (C)	1	到達目標を最低限達成している。	69～60点		
不可 (D)	0	到達目標を達成していない。	59～0点	不合格	不認定
放棄 (E)	0	授業を途中で放棄している。	E		

※放棄 (E) は、再試験を受けることができません。

なお、成績評価に不服がある場合は、不服申立てができます。（不服申立てに関する規程参照）

GPA の評価

本学では、学修成果を可視化することにより学生の学修意欲向上と教育の質の向上を図ることを目的として GPA の評価制度を取り入れています。（学則第40条および「吉備国際大学 GPA 制度に関する規程」参照）

1. 対象科目

学則に定める卒業要件に関する科目が GPA の対象科目です。

卒業要件に含まれない日本語教員養成に関する科目、「認定」評価された科目は除外します。

2. 算出方法

GPA (Grade Point Average) とは、履修登録した科目ごとの5段階評価 (Grade) を4～0の評価点 (Grade Point=GP) に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った単位当たりの GP の平均点です。

GPA には、①当該年度中に履修した科目を対象とした学年 GPA と、②在学期間中に履修した全ての科目を対象とした累積 GPA があり、成績通知書および成績証明書には、累積 GPA が記載されています。GPA の算出方法は、以下のとおりです。

GPA の算出方法

$$\text{学年 GPA} = \frac{\text{秀ポイント}(4) \times \text{単位数} + \text{優ポイント}(3) \times \text{単位数} + \text{良ポイント}(2) \times \text{単位数} + \text{可ポイント}(1) \times \text{単位数}}{\text{当該年度中に履修登録した科目の総単位数 (不可・放棄を含める)}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{\text{秀ポイント}(4) \times \text{単位数} + \text{優ポイント}(3) \times \text{単位数} + \text{良ポイント}(2) \times \text{単位数} + \text{可ポイント}(1) \times \text{単位数}}{\text{在籍期間中に履修登録した科目の総単位数 (不可・放棄を含める)}}$$

※小数点以下第3位を四捨五入し小数点2位まで表記します。

ただし、他大学等で修得した単位を単位認定している科目は、修得単位からも履修登録単位数からも除きます。

3. 再履修 (平成28年度入学生より)

すでに成績評価が「優」「良」「可」で確定した科目であっても、学生が GPA 向上のために再履修を希望した場合は、学長が学務代議員教授会の意見を聴いたのち1回のみ再履修を認めます。ただし再履修が認められた科目は、仮に評価が下がったとしても必ず再履修後の評価に置き換えられますので注意してください。

4. 取り扱い

GPA は、「成績通知表」により通知し、UNIVERSAL PASSPORT の「成績照会」でも確認することができます。また、卒業・留年判定や退学勧告などを含めた学生への学修指導や、学業成績優秀者などの表彰基準に活用します。